

他人事ではない! DV被害の実態

—「さいたま市男女共同参画に関する市民意識調査」(平成23年8月実施)から—

◆女性の5人に1人が身体的DV被害の経験者

配偶者や交際相手など親密な関係にある(あった)人からふるわれる暴力は、「ドメスティック・バイオレンス(DV)」といい、犯罪ともなる行為をも含む重大な人権侵害であり、被害者の多くは女性です。

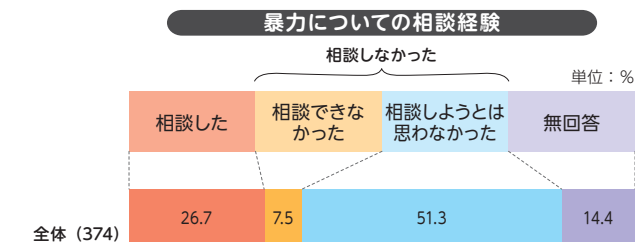
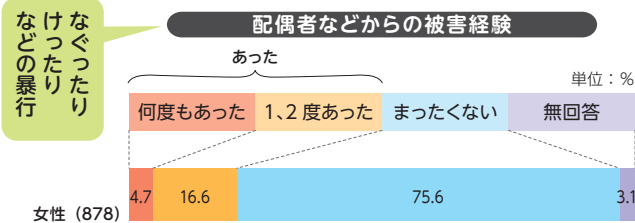
市民意識調査結果では、「配偶者などからの被害経験」では、「なぐったり、けったりなどの身体的暴力」の被害経験があったと回答した女性の割合は、21.3%と約5人に1人という身近な実態であることが明らかになりました。

◆被害者の半数以上は相談していない

暴力の被害経験があったと回答した人に対し「誰かに打ち明けたり、相談をしましたか」という質問をしたところ半数以上の58.8%が“相談しなかった”と回答しています。相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思った」「自分に悪いところがあると思った」「相談しても無駄だと思ったから」という回答が多くなっています。

DVは、近親間で行われるため周囲も気付きにくく次第にエスカレートしていきます。暴力を受けているあなたが悪いではありません。まずは、ひとりで悩まずに相談してください。

毎年、11月12日から11月25日(女性に対する暴力撤廃国際日)までの2週間は、「女性に対する暴力をなくす運動」週間です。



(相談先) 秘密厳守! 相談無料!

“自分のこと、家庭のこと、職場のこと、DVなど”

パートナーシップさいたま【女性の悩み電話相談】

048-643-5813

月～金曜日 ▶ 午前10時～午後8時
土・日・祝日 ▶ 午前10時～午後4時 (毎月第4日曜日・年末年始を除く)

男女共同参画社会情報誌通信員が決定しました!!



本誌通信員へたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。

この度、今期の通信員8名の方が決定しましたのでご報告します。

2年間、この情報誌「夢」の誌面づくりにご協力いただけます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



檀田 範子さん 杉本 佳子さん
 剣持真里絵さん 平川 和明さん
 小島 綾子さん 真々田 崇さん
 小林麻紗美さん 吉田龍太郎さん



PROFILE 照英さん

1974年鴻巣市生まれ。学生時代、やり投げで全国区の選手として活躍。大学卒業後は、ファッションモデルとして活躍。1998年俳優デビュー。高い身体能力と明るいキャラクターを生かし、タレントや司会、デザイナー、雑誌連載など幅広い分野の活動を広げる。私生活では、2児のパパとして子育てに奮闘中。

私自身の成長が子どもたちの成長にもつながっています

●子育てを楽しむには…

俳優、タレントとして旅番組や子育て番組、バラエティなどさまざまなテレビ番組で活躍し、飾らない明るい人柄が人気の照英さん。月の半分は地方や海外に出るといいますが、仕事が終われば家に直行。5歳の男の子と2歳の女の子のパパとして、一緒に遊び、食事をし、家

族との時間を大切にしています。

「子育ては、楽しいけれど大変なことも多いです。だからこそ、楽しくするにはどうするかを発見し考え続けたい。子どものために付き合うという感覚では、楽しめません。朝から意気込んで出かけなくても、仕事から帰って1時間でもいい。近所の公園に行ったり家の前で走り回ったりすることが何よりの遊び」

●仕事でのポリシーは…

照英さんは、タレント活動とともに司会や雑誌連載など活動の場を広げています。

「仕事でのポリシーは、変わらないでいること。喜怒哀楽をすべて出すという自分の個性を大切にしてい、見る人の期待に応えていきたい」

世界各国にホームステイした旅番組では、現地の人たちの温かい想いに涙を流し感動を呼びました。

「自分に正直に生きることは、強い人間になれる第一歩。以前は弱さを隠していました。芸界に入り、男でも泣いていいんだ!とごく自然に考えられるようになりました」

●これからの目標、夢は…

「本が何冊か出せるくらい文化

と、自分がやりたいと思うことをして、一緒に楽しんでいます。

また、「子どもには、何をすれば願いを叶えてもらえるのかと考えさせる。そして、自分の考えを持てるように導いてあげるのが、親の力量だと思えます」と話します。

さらに、「家族がいなければ、自分も構築できないと思うので、家族を大切にしたいです。また、夫婦間ではお互いに妥協しながらも常に相手のことを理解しようとし続けることが必要。子どもたちには、チャレンジしたことを話し、私が吸収したことを生かしていつてもらいたいです。それが、私自身の成長だけでなく、子どもの成長にもつながっていくのだと思います」と話します。これからも、照英さんの冒険心、探究心に終わりはありません。



本誌のタイトル文字を書いていたきました!



▲ソフトでフレンドリー! 周りの人たちを明るく元気にする、パワーあふれる照英さん。